

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんぱ		公表日		2025年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		状況に応じて検討していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		状況に応じて検討していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・トイレ介助がしやすい空間になっている。 また着替え等の環境保持 ・1階2階とも段差のないフロアになっている。 ・トイレなどに看板をつけて分かりやすくしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・着替え時等の環境保持 ・清掃・消毒を毎日行っている。物を置きすぎず動きやすい環境にしている。	感染予防に努めながら今後も継続していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・毎日のそうじ、玩具等の消毒は日々欠かさない。 ・個別の部屋を設け休憩や個別学習に使えるようにしている。	今後も継続していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・打ち合わせ等で随時行っている。 ・打ち合わせだけでなくその都度支援について話ができていると思う。	児童の様子などについては毎朝細かく打合せを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・定期的にアンケートをして保護者の意見を聞いている。	今回の結果を改善に活かしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・毎朝の打合せ等で意見の交換をし業務改善に努めている。 ・療育等について全員で話し合う機会を設けている。	今後も継続していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		外部評価は実施していませんが今後検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・声をかけて頂いた研修には積極的に参加をしている。 ・療育について全員で話し合う機会を設けている。	可能な限り外部研修には積極的に参加する機会を設けています。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		今後も継続していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%		全職員の意見を踏まえて作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・職員で共通理解し作成に反映させている。	全職員の意見を踏まえて作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・個別支援計画について共通理解して支援を進めている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・アセスメントの結果は共有され支援の参考となっている。	活動記録を行う上で工夫しながら取り組んでいます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		全職員の意見を踏まえて作成しています。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・複数名で行っている。 ・状況に応じて、活動内容を相談して変更している。	月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・利用者の曜日も考慮して計画を立てている。	季節に応じた活動を取り入れながら固定化しないよう立案しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・利用者全員、グループ、少人数、個別などで支援している。	個別・集団支援を組み合わせながら個々の内容に沿った支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎朝行い情報の共有を行う。	毎朝必ず打合せを行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・記録を書く際不安な点疑問点等がある時は必ず相談をする。 ・終了後もだが気づいたときに随時話し合うようにしている。	基本的には翌朝に行いますが、必要に応じて支援終了後に行うこともあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・記録がないと自分の記憶だけで支援の振り返りをしなければならぬため必要である。 ・記録者が固定化せず多面的にみられるよう気をつけている。	写真や動画などを基に検証しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		全職員の意見を取り入れています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		児童発達支援管理責任者の他、1名は状況に応じて参加するように配慮しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・必要に応じて互いに見学する機会を設けている。 ・発表会などに訪問することもある。	今後も密に関わりながら利用児の成長に繋がっていけるよう努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		保護者の意向を踏まえながら、互いに見学の場を設けたり、情報提供書を提出しながら利用児の成長に繋がるよう努めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・都合の良い時期を見て行っている。	保護者の意向を踏まえながら適宜行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	・児童館や公園などに出向いた際には同年代の子供たちと関わって遊ぶこともある。 ・児童館を訪問した際に触れ合うこともある。	今般の状況を総合的に踏まえ積極的な交流は行っていますが、公共施設等を通じ触れ合う機会を設けています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・連絡ノート、送迎時等保護者との会話を大切に相談・助言を受け入れやすい関係を心掛けている。 ・特に登所・降所時には毎回お話ができています。	相談しやすい環境づくりを心がけています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるよう支援します。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		全職員の意見を取り入れながら行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・相談またSOSを見逃さず保護者の気持ちに寄り添うことを大切に心掛けている。 ・年1回の面談の他に随時面談や助言を行っている。	全職員が保護者のSOSを見逃さないように心がけてくれています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		保護者への負担を避けるため保護者会の結成は行っておりません。療育参観等で保護者同士の交流が図れるように努めています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・日ごろから綿密なコミュニケーションをとり信頼関係を築いている。	相談しやすい環境づくりを心がけています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・月の予定表や献立表を作成し配付している。	日々の療育の内容等をわかりやすく伝えられるよう心がけています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・来客がいる際は子どもの名前がついている物は必ず伏せたり子どもの目に入るところに個人情報記載しているものは置かないようにしている。	今後も継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・障がいの状態やニーズに応じて環境の調整や変更を行っている。 ・子供とは、タッチやカードなどで意思の確認を行うようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		今般の状況を総合的に踏まえ控えています。今後も状況を見ながら検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・年3回地震、水害、火災を想定し避難訓練を行い予期せぬことがおきても臨機応変に対応できるようにしている。 ・各マニュアルは作成され職員が確認しやすいように配置されている。	事前にマニュアルを確認した上で避難訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		事前にマニュアルを確認した上で避難訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・服薬は1つ1つに大きく名前を書き見やすく手に取りやすいよう工夫している。	保護者、幼稚園等と相互に確認できるよう工夫しています。またICTを活用し迅速に情報を共有できるようにしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・アレルギー児に関しては常に共通理解を深め対応一覧表を職員の目の届くところに添付している。	職員相互で確認するよう工夫しています。またマニュアル作成の上、万が一の備えも行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		緊急時に備えた対応をマニュアル化しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		緊急時に備えた対応をマニュアル化しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	「ヒヤリ」「ハット」とした出来事がいつしか重大な事故につながらないよう対策している。	事業所内研修などに用いながら再発防止に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		虐待防止研修のほか、日々の業務打合せで報道も含め内容を共有の上、日々意識を高めるように努めています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		現在までに実施例はありません。	